



指導主事研修 ～学校園とともに学ぶ。学校園に伴走する存在として大切なこと～

11月11日（火）、楠根小学校にて「指導主事研修」を実施しました。この研修は、本市の指導主事が実際の授業を見て、互いに助言し合いながら、学校園支援の質をさらに高めるための資質向上を目的に今年度より実施しているものです。

今回、指導主事の学びの場を提供いただいたのは、楠根小学校5年生の社会科の授業です。子どもたちは「東大阪市の中小工場は、どのようにして工業製品をつくっているのか」という学習課題に取り組み、教科書や資料を読み取りながら、ICTを効果的に活用し自分の考えを深めていきました。



～学び続ける指導主事の姿～

授業後には、参加した指導主事で「学びを深めるための視点」「ICTの良さを活かす工夫」「学習課題を自分事にするための手立て」など、多角的な観点から授業を分析し、模造紙にまとめました。まとめたことを指導主事同士で交流する中で、「実際の授業から、助言の視点を改めて学ぶことができた」「現場の先生と同じように、私たちも学び続ける存在でありたい」「今日の学びを、明日からの支援に必ず活かしたい」と実感できる、貴重な時間となりました。授業者の先生が、子どもたち一人ひとりに寄り添いながら、学ぶ姿を丁寧に支えている様子は、参加した指導主事にとって大きな学びとなりました。今回の研修は、指導主事自身が、学校園とともに学び、学校園とともに成長するという姿勢を改めて実感でき、非常に貴重な機会となりました。この学びを活かし、今後も引き続き各学校園の実態や実情に応じた伴走支援に努めてまいります。次回は、来年の2月に柏田中学校での実施を予定しています。



【アクトランド YAO へ!】 自然が育む友情の秋

教育支援センター（ふれあいルーム）

ふれあいルームでは、11月7日（金）に秋の遠足としてアクトランドYAOに行きました。今回の遠足のめあては、参加した子どもたちが自然豊かな環境の中で、様々な活動を通してなかまと協力し合うこととしました。

カレー作り体験

昼食は、皆で協力してカレー作りに挑戦しました。火おこしから調理、片付けまで、それぞれの役割を分担し、力を合わせて作り上げたカレーの味は格別でした！

オリエンテーリング

昼食後は、広い敷地を利用したオリエンテーリングを実施しました。地図を頼りにチェックポイントを探す中で、チームで助け合いながら高得点をめざしました。自然の中で体を動かし、協力して成し遂げる充実感を味わえたことと思います。

ルーム生の振り返りには、「カレーがおいしくできて良かったです」「おかし交換してくれたみんな、ありがとう」「人とめっちゃめっちゃべって楽しかった」「オリエンテーリングで最後に先生を探すために全力で走って楽しかった」などの感想が書かれていました。

ふれあいルームでは、これからもなかまと協力しながら主体的に学ぶ機会を積極的に設け、子どもたちの社会的自立を支援していきます。

